

人権学習展開例

- 主題名 個人情報と差別①
- 教材名 事前登録型本人通知制度
- 人権学習の視点 個別的な視点「同和問題」
- 主題・教材について

平成23年から24年にかけて、全国的に戸籍謄本や住民票の写しなどが、本人の知らないところで不正に取得される事案が相次いで発生した。その中には身元調査を目的とするものもあったとされており、こうした行為は、個人情報の不正取得という問題だけにとどまらず、就職差別や結婚差別などの人権侵害を引き起こす可能性がある。差別のない社会を築いていくために、事前登録型本人通知制度についての学習を通して、差別につながるものに気づき、また、差別の解消につながる実践的な態度を育てたい。

●ねらい

差別のない社会を築いていくために、差別やそれにつながるものに気づくことができる知識を身につけ、差別が起こらない環境を築こうとする態度を育てる。

●関連する教材

- 人権学習資料集〈高等学校編〉「17 私のここを見てください
～公正な採用選考がされる社会をめざして～」
- 人権学習資料集〈中学校編Ⅱ〉「4 統一応募用紙から学ぼう～就職差別をなくす取組～」

●本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○進学や就職等で住所が変更になる場合には、住民票を移す義務があることを伝える。	一斉	○教師の話を書く。	○住民基本台帳法第22条・23条に「14日以内に届け出なければならない」と明記されていることをおさえる。 ○出生、家庭状況等に十分な配慮を必要とする生徒も在籍していることを考慮する。	
展開	○配付資料①(事前登録型本人通知制度のリーフレット)を示し、制度の概要を説明する。	一斉	○配付資料①を確認する。	○同和問題については学習済みであることが望ましい。	配付資料①
	戸籍謄本(住民票)から何が分かるのか確認しよう				
	○配付資料②(戸籍謄本)の見本を示し、どのような個人情報が記載されているのかを確認させる。	一斉	○配付資料②を確認する。		配付資料②

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
展開	事前登録型本人通知制度ができた背景について考えよう				
	○指導者用資料（部落差別撤廃の取組と今日的課題）を参考に事前登録型本人通知制度が作られた背景について説明する。	一斉	○近年の個人情報をめぐる事象について説明を聞く。	○就職差別や結婚差別につながる可能性があることを確認する。 【出身地で差別される】 ○本人の知らないところで個人情報が不正に取得され、差別や犯罪につながることを説明する。	
まとめ	事前登録型本人通知制度を普及させよう				
	○事前登録型本人通知制度の普及が差別抑止につながることを再度伝える。	個別	○リーフレットを見て事前登録型本人通知制度の登録方法を確認する。	○自分自身を守る手段でもあり、また、差別のない社会をつくるための取組でもあることを強調する。 ○戸籍、住民票がある市区町村で登録できることをおさえる。	

●評価

事前登録型本人通知制度の意義について理解し、差別やそれにつながるものについて考えることができたか。

平成 30 年度人権擁護啓発ポスターコンクール入選作品



京都市市長会会長賞
宇治市立宇治小学校 2年
三木 穂夏 さん